

## 京都こども宅食プロジェクト様に 弊社のダンボールを使用して頂きました

新型コロナウイルスの感染拡大により全国的に需要が増加した「こども宅食」という取り組みがあります。

京都では、「一般社団法人 こども宅食応援団」・「京都市」・「社会福祉法人 あだち福祉会」が協定を結び、政令指定都市として初となるこども宅食として、活動の輪を広げておられます。

### 「こども宅食」とは？

生活の厳しいご家庭に定期的に食品を届ける取り組みです。

近年、「こども食堂」のように、地域のつながりを強め、こどもの居場所をつくるような事業が増えているなか「こども宅食」が存在する理由は、つらい状況に置かれていても、声を上げられない、自ら助けをもとめられない親子がいるからです。

現在の日本には、しっかりとした社会保障制度があり、多くの親子の生活を支えています。制度を利用して支援を受けるためには「窓口に行き、相談をする」ことが必要です。

支援を受けるためには、自分で声を上げて自分で動かなければいけない状況は「申請主義」と呼ばれています。

支援者は窓口で助けを求める声が届くのを待っていますが、声を上げられない親子の声は相談窓口には届きません。その声を拾うためには、相談窓口で待つのではなく、こちらから手を差し伸べるアプローチが必要です。

「こども宅食」は、LINEや配送時の対面によるやりとりを通して安心したつながりを少しずつ育てていくなかで、生活状況を把握し、状況が悪化するときの予兆を見つけ必要な情報や機会、適切な支援の提供をめざしています。

(参照: 京都こども宅食プロジェクト公式ホームページ/こども宅食応援団公式ホームページ)



(写真提供: 京都こども宅食プロジェクト様)

この度ご縁を頂き、弊社の段ボールケース350箱をご使用いただけることとなりました。

弊社の事業を通して、このような形で社会に貢献できることを大変嬉しく思います。  
今後も(株)ケイジパックとしてできることを考えていきます。



## 強化紙製 簡易検査ブースのご紹介です

### 新型コロナウイルスのPCR検査を担うドクターを 二次感染から守ります!!

ベースの素材は100%紙から生成され  
(塩ビ素材部分を除く)、通常の紙や  
段ボールと同様に**100%リサイクル**が  
可能です。  
紙製の硬質ボードで製作されている為  
**軽くてとても丈夫**です。  
内側表面にはラミネート加工が施してあり、  
アルコールで消毒が可能です。

対面式の窓には飛沫などの曝露のリスクを  
最小限にする為に塩ビシートを貼り、  
感染防止対策をしています。  
また透明度の高いビニールシートで  
窓も大きい事から、圧迫感を与えません。

ご興味をお持ちいただけましたら  
ぜひ弊社HPをご覧ください。  
より詳しい情報を掲載しております。

<https://www.keiji-p.com>



### 防災訓練を 行いました!



9月19日、毎年恒例の**防災訓練**を  
行いました。

防火設備の委託業者の方にお越しいただき、  
まず事務所内に設置している火災報知器の取り扱いに  
ついてレクチャーを受けました。

次に各階の消火器の設置位置を確認。

その後は、非常階段のドアの開閉等について説明を受け、  
練習用の消火器を用いて消火訓練を行いました。

火災は段ボール資材を扱う私達にとって  
特に危惧すべき災害です。

日々の注意を怠らず、万が一に備えていきます。



KP TIMESはびわ湖の森の木になる紙を使用しています

